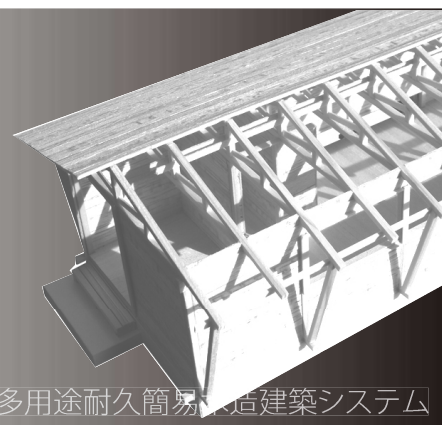


# Zig house

×

被災地支援事業



小径木による多用途耐久簡易建造建築システム

## 施工事例

- 栄村計画 / Zig105 / 長野県 / 2間 × 6間タイプ
- ワタママ食堂 / Zig120 / 宮城県 / 2間 × 9間タイプ
- 前谷さんの家 / Zig120 / 福島県 / 4間 × 6間タイプ
- 金華山宝島プロジェクト / Zig105 / 宮城県 / 2間 × 12間タイプ

# Zig house

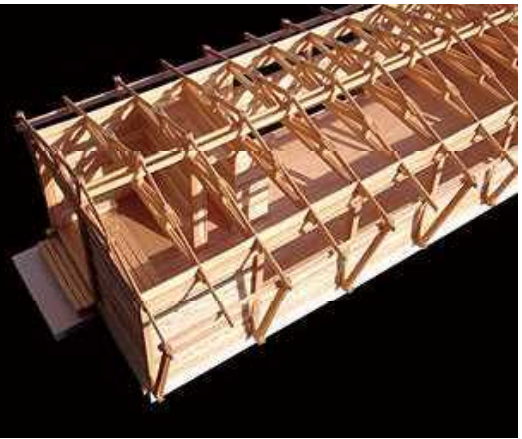
多用途耐久簡易木造建築システム

木材供給元

- 天竜 T.S. ドライシステム協同組合
- 長野県産材販路開拓協議会
- 奥駒木材

瀬野和広 + 設計アトリエ  
TELIER art

〒165-0034 東京都中野区大和町 1-67-6 MT COURT 606  
TEL 03-3310-4156 FAX 03-3310-4353  
Mail aaj-seno@pop06.odn.ne.jp

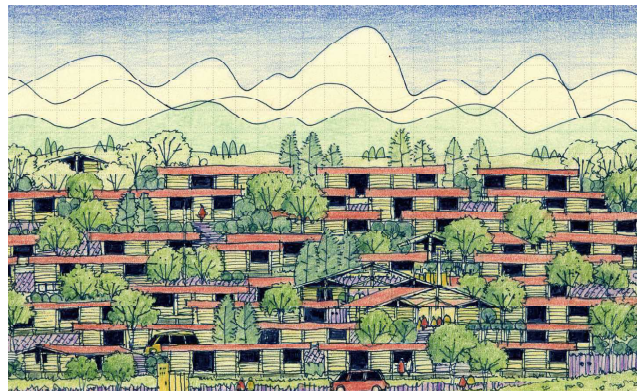


## 建築にできること、震災からの教訓

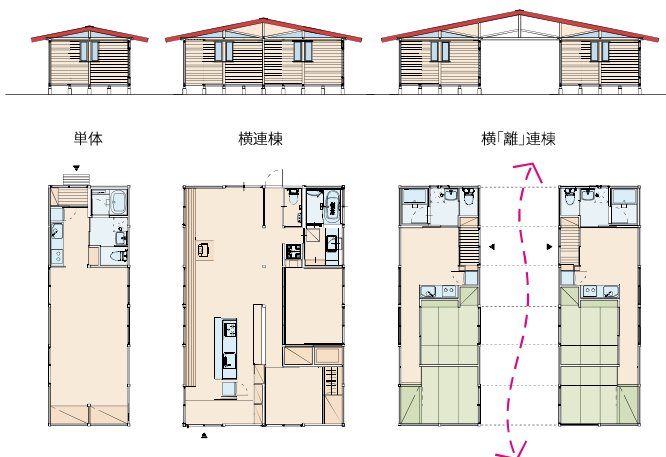
耐久簡易木造建築システム

災害が発生する度、建築の脆さが浮き彫りになり「建築に出来ること」が取沙汰されます。3.11 や 3.12 震災はとりわけその深刻さが際立つ問題となっていました。その中でも被災地のコミュニティは、なんと三度に渡り崩壊を繰り返す問題を抱えています。震災でまず地元が壊され、避難所解散で再び離散。そして時限装置付の仮設住宅でという具合に引き裂かれながら、元の場所に戻れない地域もたくさん生み出してしまいました。その中で「建築に出来ること」とは、数合わせだけのプレハブ建築供給制度に甘んじなければならない現実から抜け出す道筋を付けることではないでしょうか。私達の提案は正にその道筋となる建築システムの構築を考えるものです。壊さなくても良い仮設建築。壊してもまた組み立てられる汎用性から、仮設の時限、その先の暮らしとコミュニティを継続させる耐久簡易木造建築施設に依り用途もフリーに使いこなせる建築システムとして、広く活用出来るものと期待しております。

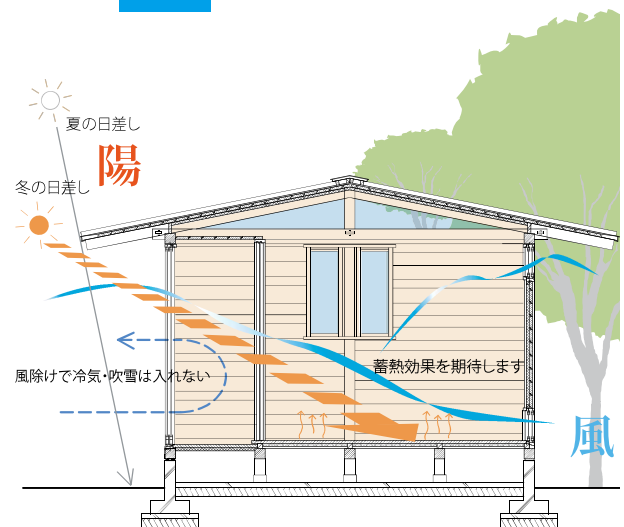
瀬野和広



2×6間 = 12坪が基本。  
縮小拡大連棟自由!



温熱環境づくりもあくまで  
パッシブデザインから。

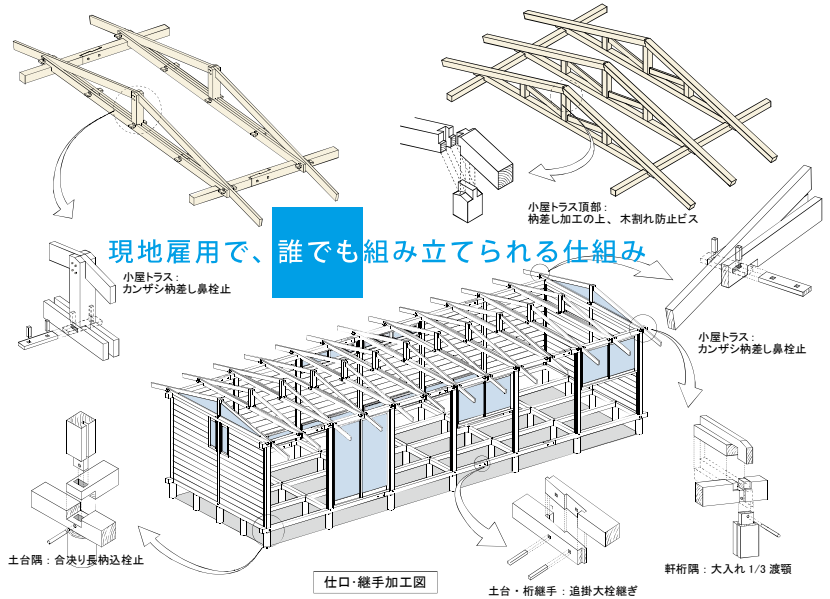


# 「木」でつくるということ

建築仕様は、すぐその足元の「木」が資材です。つまり木の国だから出来ることを、素直に利用しようというものです。しかも誰でも「大工」よりしく、いざとなれば居住者自ら組み立てることも可能なキットを準備するという単純な仕組みです。また「木」部材全ては、再資源として軸材パーツに戻ります。場所を移して再構築し、別用途でも再利用できます。ゴミにならないことが「木」の最たる特性といえます。開口部と葺き屋根の金属以外は全て木で、低炭素化も同時に計ります。まずは私達の木の国だからこそ出来る、リユース、リサイクル型の恒久的住宅のつくり方を確立しないといけません。間取りにおいては、妻側2間(3.64m)×桁行6間(10.92m)を基本サイズとします。その部度の暮らし向きに合わせ、モジュールの短縮や拡大、連続型レイアウトも変幻自在です。

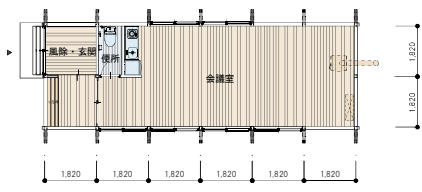
## 軽い屋根荷重仕様

## 重い屋根荷重仕様



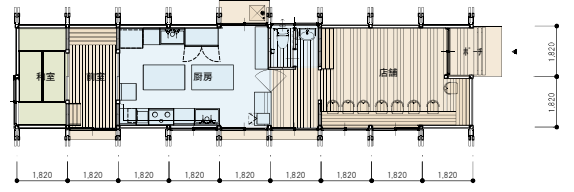
### 2間×6間タイプ(単体)/栄村計画

- 所在地/長野県下水内郡
- 竣工/2011年11月
- 主要用途/事務所
- 構造/木造軸組落し板壁構法(トラス小屋組)
- 規模/平屋建 床面積39.75㎡



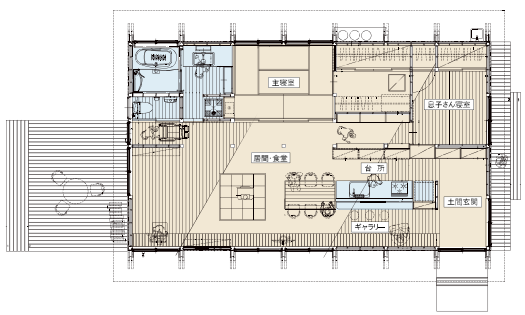
### 2間×9間タイプ(単体)/ワタママ食堂

- 所在地/宮城県石巻市
- 竣工/2014年04月
- 主要用途/飲食店
- 構造/木造軸組落し板壁構法(トラス小屋組)
- 規模/平屋建 床面積59.62㎡



### 4間×6間タイプ(連続)/福島・前谷邸

- 所在地/福島県福島市
- 主要用途/専用住居
- 構造/木造軸組落し板壁構法(トラス小屋組)
- 規模/平屋建 床面積79.51㎡



### 2間×12間タイプ(単体・複数)/金華山宝島プロジェクト

- 所在地/宮城県石巻市
- 主要用途/宿泊施設
- 構造/木造軸組落し板壁構法(トラス小屋組)
- 単位床面積/平屋建 宿泊棟79.44㎡ サニタリー棟19.86㎡ 炊事棟29.79㎡

計画中



## 建築にできること。3.11・3.12震災からの教訓。

災害が発生する度、建築の脆さが浮き彫りになり「建築にできること」が取り沙汰されます。3.11や3.12震災はとりわけその深刻さが際立つ問題となっていました。その中でも被災地のコミュニティは、なんと三度に渡り崩壊を繰り返す問題を抱えています。震災でまず地元が壊され、避難所解散で再び離散。そして時限装置付の仮設住宅でという具合に引き裂かれながら、元の場所に戻るあてもままならない地域もたくさん生み出されています。その中で「建築にできること」とは、数合わせだけのプレハブ建築供給の制度に甘んじなければならない現実から抜け出す筋道を付けることではないでしょうか。私たちの提案は、まさにその道筋となる建築システムの構築を考えるものです。壊さなくてもよい仮設建築。壊してもまた組み立てられる汎用性から、仮設の時限、その先の暮らしとコミュニティを継続させる耐久簡易木造施設により、用途もフリーに使いこなせる建築システムとして、広く活用できるものと期待しております。

瀬野 和広

## 次の10年の住まい方を考える。Zig house

Zig house のお問い合わせは

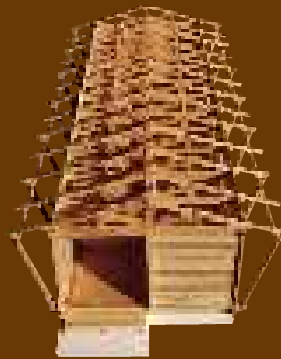
瀬野和広+設計アトリエ TEL: 03-3310-4156 E-mail: aaj-seno@pop06.odn.ne.jp

瀬野和広+設計アトリエ

検索

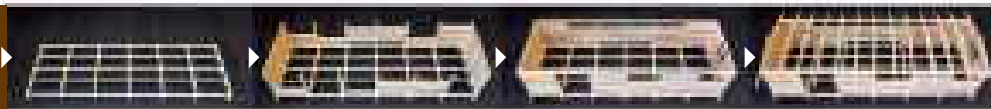
誰でも  
組み立てられる、  
「木」の家の  
新しいかたちです。

## Zig houseの つくり方 つかわれ方



## Zig houseのつくり方

布基礎を施した  
本設仕様です



敷土台

柱立て・落し込み板壁

頭繋ぎ・臥梁桁

小屋組トラス



### 1 いつでも

一棟丸ごと地場産材を使います。

たとえば、スギ、マツ、その他「地元の木」が資材です。基本的に90×90mm<sup>\*</sup>の角材を使用します。

※建物の特徴や資材調達コストにより105×105mm、120×120mmの角材を使用する場合があります。

### 2 どこでも

山間地域でも建てられます。

あらかじめカットされた木材を現地に運ぶので、平地の少ない場所でも効率的に施工できます。

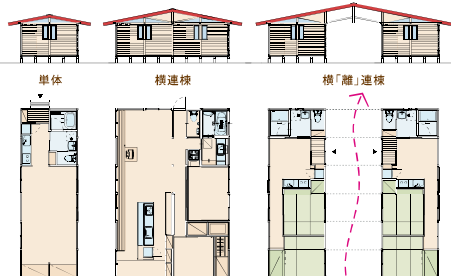
### 3 だれでも

住む方自身が「大工」になって組み立てられます。

同サイズの木材を一定ルールに従って組むだけなので、専門知識を持たない人でも作業することができます。

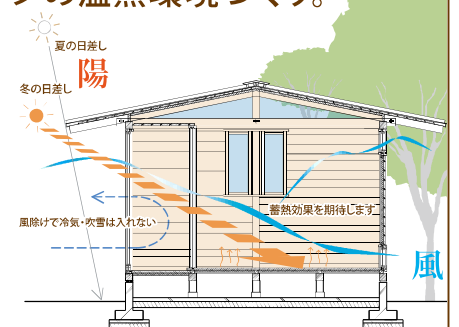
## 間取りは、2×6間＝12坪が基本。 縮小、拡大、連棟などレイアウト自在。

家族構成やライフスタイル、用途など、その都度の暮らし向きに合わせて、変幻自在な住戸レイアウトが可能です。



## 風と光の力を生かした、 パッシブデザインの温熱環境づくり。

風の通り道をつくり、すみずみまで通風を。さらに、夏の陽射しを遮り、冬の陽光をたっぷりと採り入れます。



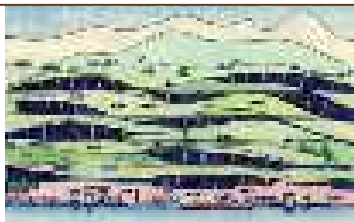


# Zig houseのつかわれ方

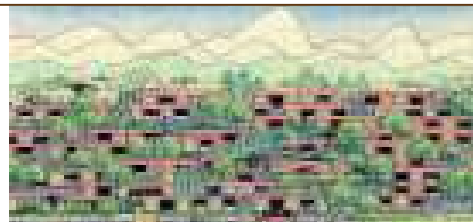
## 1 だれにでも

木のぬくもりがある毎日を。

木の暖かさ、優しさが与えてくれるやすらぎ。  
さらに木材は、温度や湿度を調節し快適な空間をつくります。



■山を借りた海のまちづくり「夢」構想。／海上からの立面、山の造成施工絵図



■山を借りたその次の仮住まい集落づくり。／集落風景立面絵図

## 2 何にでも

住まい、店舗、公共施設まで用途は自由。

Case1

4間×6間タイプ(連棟)／福島・前谷邸

住まい  
として

- 所在地／福島県福島市
- 主要用途／専用住居
- 構造／木造軸組落し板壁構法(トラス小屋組)
- 規模／平屋建 床面積79.51m<sup>2</sup>

計画中

Case2

2間×9間タイプ(単体)／ワタママ食堂

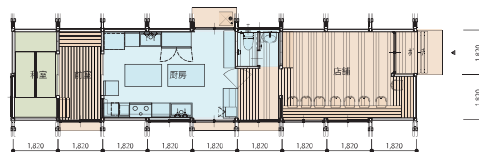
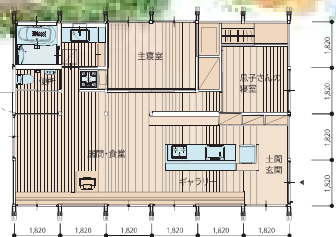
店舗  
として

- 所在地／宮城県石巻市
- 竣工／2014年4月 ○主要用途／飲食店
- 構造／木造軸組落し板壁構法(トラス小屋組)
- 規模／平屋建 床面積59.62m<sup>2</sup>



■外観イメージ図

■内装イメージ図



Case3

2間×6間タイプ(単体)／栄村計画

事務所  
として

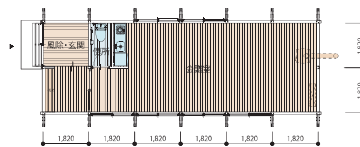
- 所在地／長野県下水内郡
- 竣工／2011年11月 ○主要用途／事務所
- 構造／木造軸組落し板壁構法(トラス小屋組)
- 規模／平屋建 床面積39.75m<sup>2</sup>

Case4

2間×12間タイプ(単体・複数)／金華山宝島プロジェクト

宿泊施設  
として

- 所在地／宮城県石巻市
- 主要用途／宿泊施設
- 構造／木造軸組落し板壁構法(トラス小屋組)
- 規模／平屋建 宿泊棟79.44m<sup>2</sup> サニタリー棟19.86m<sup>2</sup> 炊事棟29.79m<sup>2</sup>



■鳥居イメージ図

■内装イメージ図

計画中

## 3 何度でも

木部材すべてが繰り返し利用できます。

木部材は、再資源として軸材パーツに戻ります。  
場所を移しての再構築や別用途の再利用もでき、ゴミになりません。

